

【研究主題】

自ら進んで考え、判断して、よりよく生きようとする児童の育成
—「特別の教科 道徳」における主体的・対話的で深い学びを通して—

第6学年 道徳科学習指導案

日時 平成30年6月27日(水)第5校時

第6学年2組 32名

授業者 大槻 雄介

1 主題名 『自律的な生活』（善悪の判断、自律、自由と責任 A—（1））

2 ねらいと教材名

- （1）ねらい 自由の大切さを理解し、自他の自由を尊重するとともに、責任ある行動について自律的に判断する力を育てる。
- （2）教材名 修学旅行の夜（『新しいどうとく』東京書籍）

3 主題設定の理由

（1）ねらいとする道徳的価値について

自由とは人間にとって大切なものである。しかし、自分の自由だけでなく他人の自由を尊重することが求められる。自分の自由を主張するあまり、他人に迷惑をかけることは各自の自律的判断で慎まなければならない。自由と共に責任をもって行動することの大切さについて、話し合いを通して考えたい。

（2）児童の実態

【道徳アンケートから】

質問 あなたは学校生活や日常生活で、自律的（自分で自分の行動を制限すること）に判断し、責任のある行動ができていますか。（4つの中からあてはまるところに○を書いてください。）

（平成30年6月12日 計33名で実施）

| 質問 | とてもあてはまる | あてはまる | あまりあてはまらない | あてはまらない |
|----|----------|-------|------------|---------|
| | 19% | 59% | 19% | 3% |

アンケート結果から、あてはまると答えた児童が全体の59%と半数以上を占め、とてもあてはまると答えた人は19%にとどまった。このことから、学級の7割を超える児童が日常生活で自律的で責任ある行動がとれていると思っていることがわかる。しかし、「あてはまる」と答えた児童が「とてもあてはまる」に○をつけられない理由として、自信がなかったり具体的な基準がなく悩んでいたりと考えられる。反対に「あまりあてはまらない」「あてはまらない」と回答した児童は約2割いた。本単元で「人に迷惑をかけないように気を付けて、自由におしゃべり」することは自由・自分勝手の2つの立場にたって意見を交流することを通して、2つの違いについて考え、客観的に自分を振り返らせたい。

(3) 教材について

本教材は、就学旅行の夜、消灯後も大騒ぎをしてしまうという実際によくある問題を取り上げ、自由と責任との関わりについて考える教材である。

主人公の班では夕食後の話題で「自由にしたい」と言いながらも「できるだけ静かに寝よう」ということになった。しかし消灯後、次第に楽しい気分になり、まくら合戦になってしまう。そこへ至るまでの主人公の心の動き、先生の言葉、その後のみんなの様子など、身近で現実的な事例を追いながら、ねらいに迫れるように構成されている。

4 ブロック分科会の取り組み

(1) 指導案作成において課題になったこと

- ・ねらいとする道徳的価値が「自由と責任」「自律」のどちらで、どのように授業を組み立てるべきか。
- ・どのように話し合わせれば、多面的、多角的の意見が出る議論になるのか。

(2) 指導案作成までの取り組み

6月13日 第1回指導案検討。

高学年ブロック、研究主任、副校長とで全体の流れについて検討。

6月19日 第2回指導案検討。学年、副校長とねらいと価値について再度検討。

6月21日 第3回指導案検討。学年で学習カードについて検討。

6月25日 第4階指導案検討会。校長先生とねらいと本時について検討。

高学年ブロックで修正点を確認。本単元のねらいについて検討。

6月26日 第5回指導案検討会。学年と校長先生でねらいと学習の流れについて検討。

放課後高学年ブロックで発問や学習の流れについて検討。

5 研究主題に迫るための手だて

| | 主体的な学びを導くために (他人事ではなく、自分自身のこととして考えるために) | 対話的学びを導くために (友達の考えから共通点や相違点を発見するために) | 深い学びを導くために (自分の考えをより深めたり、改めたりするために) |
|-----------------|---|--|--|
| 発問の工夫 | <問題場面への共感> 児童にとって身近な話題を取り扱うことで、自分自身のこととして考えさせる。 | | |
| 学習形態の工夫 | | <立場で分けた議論> 「自由」と「自分勝手」の立場を分け、児童の意欲的な議論を展開させる。 | <両者の立場に立ち考える> 双方の立場を体験させることで、価値を多面的に捉えさせる。 |
| 児童の意識を把握するための工夫 | <事前のアンケート調査> ねらいとする道徳的価値に関係するアンケートをとることで、児童に意識を正確に把握し、発問にかす。 | | |
| 評価のための工夫 | <事前のアンケート調査> 事前アンケートの中に「自由」に関する質問を記述式で書かせ、授業前と授業後の変容を評価できるようにする。 | | <ワークシート> 議論の後、自分勝手な行動をしてしまった自分の経験を想起することができたかを評価する。 |

6 本時の学習指導の過程

(1) 本時のねらい

自由の大切さを理解し、自他の自由を尊重するとともに、責任ある行動について自律的に判断する力を育てる。

(2) 展開

| 過程 | 時間 | 学習活動 (○発問 ◎中心発問 ・予想される反応) | ◇指導上の留意点 ◆評価 (方法) |
|----------|-----|--|---|
| 導入 | 5分 | <p>1 問題意識をもつ</p> <p>①明日の1校時「自由」になったら何をしたいか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校庭で遊ぶ—校庭は体育をしている学年がいると邪魔になる。 ・教室で読書—別に誰にも迷惑をかけていない。 <p>「自由」とはどういうことか考えよう。</p> | ◇本時で学習する価値への方向付けをはかる。 |
| 展開 前段 | 25分 | <p>2 「修学旅行の夜」を読んで話し合う。</p> <p>○「修学旅行の夜、人に迷惑をかけないように気を付けておしゃべりをする」ことは、「自由」か「自分勝手」のどちらかの立場に立って議論する。</p> <p>【自由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本音はみんなおしゃべりがしたいはず。自分たちがしたいことができるのが自由。 ・何にも縛られないことが自由だから、この場合も自由。 ・迷惑をかけないのだから、それは自由。 <p>【自分勝手】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全員がおしゃべりしたいわけではない。それは一部の人のわがままで、自分中心で物事を考えている。 ・迷惑をかけないで話すことがそもそも無理なことだから自分勝手。 <p>◎自由と自分勝手の違いはなんだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分のことしか考えていない自由は自分勝手。 ・誰かが嫌な思いをしているのに気が付かない。 ・人に迷惑をかけない、これは自由の絶対条件。 ・自分の責任で何とか解決ができるのが自由。 | <p>◇あらかじめ二つの立場を決めておく。10分したら立場を交代して話し合い、児童一人一人が両方の立場から多面的、多角的に価値について考えることができるようにする。</p> <p>◇話し合いを交互に行った後、自分が正しいと思う立場を決める。</p> <p>◇議論を踏まえながら、自分なりに自由と自分勝手の違いを判断するよう促す。</p> <p>◆事前アンケートの「自由」に関する考えと、学習後の考えに変化は見られたか。</p> |
| 展開 後段 | 10分 | <p>3 自分を見つめる。</p> <p>○自分を振り返ってみて、自由でなく自分勝手だったことないだろうか。</p> | <p>◇ワークシートに書くようにして、自己を見つめるようにする。</p> <p>◆自分の経験を振り返り、自分勝手な行動がなかったかを振り返る。</p> |
| 終末 | 5分 | <p>4 教師の話をする。</p> <p>「自由と我儘との境は、他人の妨げをなすとなさざるとの間にあり。」</p> | ◇自由と責任の関わりについて話し、自律的で責任のある行動をする意欲を持てるようにする。 |

(3) 評価 自分勝手な行動をしてしまった自分の経験を想起することができたか。

(3)板書計画

| | | | | |
|---------------------------------------|--------------------------|---|--|---|
| <p>自由と我儘との界は、他人の妨げをなすとなぎやるとの間にあり。</p> | <p>自由ではなく自分勝手だったことは？</p> | <p>自分勝手とは。 ・周囲を考えない ・規則を守らない ・迷惑になる</p> <p>↓</p> <p>自由とは。 ・自分で解決できる範囲 ・人に迷惑を掛けない ・周りのことを考える</p> | <p>自分勝手</p> <ul style="list-style-type: none">○全員がおしゃべりをしたいわけではない。○自分のことしか考えていない。○迷惑を掛けないことがそもそも無理。 <p>自由</p> <ul style="list-style-type: none">○自分達がしたいことをするのが自由。○みんなおしゃべりがしたいはずだから。○誰にも迷惑を掛けないから。 <p>人に迷惑を掛けないように気を付けて、おしゃべりをする。</p> <p>場面の絵</p> | <p>修学旅行の夜</p> <p>自由ということとはどういうことなのか考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none">○一校時が自由だったら何をする？○校庭で遊ぶ。○校舎内で鬼ごっこをしたい。○教室で静かに読書をしたい。 |
|---------------------------------------|--------------------------|---|--|---|

(4)ワークシート

| | |
|--|---|
| <p>◎「自分を見つめて」</p> <p>※これまでの自分を見つめて、これからの自分を考えましょう。</p> | <p>道徳ワークシート「修学旅行の夜に」</p> <p>年 組 名前 ()</p> <p>○「自由」と「 」の違いはなんですか。</p> <div data-bbox="885 1064 1268 1355"></div> <div data-bbox="885 1377 1268 1668"></div> |
|--|---|